

## プログラム

1日目 (2月23日 土曜日)		
開始時刻	終了時刻	講義名
10:00	- 10:20	イントロダクションおよび事前問題 (20分)
10:20	- 10:35	がんゲノム医療の提供体制について (15分) 向井 洋介 (厚生労働省)
10:35	- 11:35	がんの生物学・分子生物学の基礎知識 (60分) 大木 理恵子 (国立がん研究センター研究所)
11:35	- 12:35	<昼 食 (60分)>
12:35	- 13:35	ゲノム医療で使用される用語の説明 (60分) 西尾 和人 (近畿大学)
13:35	- 14:35	ドライバー遺伝子変化と分子標的薬 (60分) 大江 裕一郎 (国立がん研究センター中央病院)
14:35	- 14:50	<休 憩 (15分)>
14:50	- 15:20	遺伝子検査 (30分) 坂井 和子 (近畿大学)
15:20	- 15:50	遺伝子変化の臨床的意義に関するエビデンスレベル (30分) 武田 真幸 (近畿大学医学部)
15:50	- 16:20	遺伝子パネル検査結果の活用方法 (30分) 高橋 秀明 (国立がん研究センター東病院)
16:20	- 17:20	医療倫理と個人情報保護 (60分) 武藤 香織 (東京大学医科学研究所)
2日目 (2月24日 日曜日)		
09:00	- 10:00	患者さん、被検者の方々とのコミュニケーションのあり方を考える (60分) 田村 智英子 (FMC 東京クリニック)
10:00	- 11:00	遺伝子パネル検査におけるレポートの作業手順と読み方 (キュレーション・アノテーション) (60分) 西原 広史 (慶応義塾大学医学部)
11:00	- 12:00	遺伝医学、遺伝性腫瘍 (60分) 櫻井 晃洋 (札幌医科大学)
12:00	- 13:00	<昼 食 (60分)>
13:00	- 13:30	がんゲノム医療コーディネーターCGMCが行う業務内容について (30分) 米村 雅人 (国立がん研究センター東病院)
13:30	- 15:30	事例検討 (120分) 米村 雅人 (国立がん研究センター東病院)
15:30	- 16:00	事後評価及びアンケート (30分)

主 催：日本臨床腫瘍学会

協力学会：日本遺伝看護学会，日本癌学会，がん看護学会，日本癌治療学会，

日本人類遺伝学会，日本臨床衛生検査技師会，日本臨床腫瘍薬学会（五十音順）